



一般社団法人  
**富山県作業療法士会**  
**ニュース**

平成27年度 No.4 第119号 平成28年1月20日

発行 富山県作業療法士会  
会長 田村良子  
印刷 ㈱チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：536人

## 「15回東海北陸作業療法学会報告」

富山市民病院 古澤 学

平成27年11月28、29日の2日間、岐阜市じゅうろくプラザで行われた第15回東海北陸作業療法学会に参加してきました。「作業療法イノベーション作業の深化と拡大のうねりの先に」をテーマに学会長の柴貴志先生のもと、岐阜県士会の方々のご支援により充実した学会参加が出来ました。今回、私は口述発表兼ねて参加させて頂きました。

岐阜市は初めてでしたが、風情がない私は「どんなおいしい物？お酒？があるのか」ということで頭がいっぱいで、発表の緊張も解消されるくらいにワクワクしていました。旅路の途中、今年度！？初の降雪にも合いハラハラしながら岐阜市に向かいましたが、日頃の行いが良かったのか幸いにも岐阜市滞在時は二日間とも晴天に恵まれました。会場のあった岐阜駅前周辺はさほど富山駅前と変わらない印象でしたが、飲み屋街は富山駅周辺よりディープな町並みで私の期待を裏切りませんでした。食べ物は名古屋の影響を強く感じましたが、もてなし下さった岐阜市の方々は名古屋人に負けない優しさを感じました。

一般演題で「福祉用具満足度評価を指標とした摂食動作介入の一事例」と題して、重度リウマチ患者に対して摂食動作を再獲得するため福祉用具満足度評価を指標とした福祉用具の導入とその不安に対する推察・介入の経験を報告してきました。福祉用具を用いてアプローチする場合、福祉用具満足度評価を用いることは対象者の不安を解決し、福祉用具を使用し続けるための介入に有効なツ

ルになったことを経験しました。

シンポジウムは目白大学の藤田佳男先生の自動車運転のポイントの技術講座が印象に残りました。障害者や高齢者の自動車運転の介入過程は机上テストから実車練習に至りますが、全ての介入が伴わなくても十分支援できるとされ、急性期や医療機関でも自動車運転支援が可能であることを説明されました。また「運転が出来ることと安全に出来ることは運転において全く異なる」との説明もありこれからの支援のあり方を考え直す機会ともなりました。

一方、少し残念なことに富山県士会からの参加や発表は少ない印象でした。発表は時間や労力がかかり、技術獲得に直接つながることが少ないです。しかし今、自分がしている作業療法が患者さんにどのような形となって自立支援に結びついているのかを再認することが、何よりの技術向上ではないかと思います。また普段の業務を発表という形で振り返ることが作業療法士としてのさらなるステップアップになるとも思われます。特に経験の浅いOTの方は恐れず、先輩や同期にも協力してもらい行ってみたらいいと思います。

最後に今OTを取り巻く状況はMTDLPなど大きな転換期を迎えています、逆に絶好のチャンスとも思います。我々OTが更なる飛躍をするため、職能団体としての活動と同時に個人の活動のアピールも必要です。来年は金沢で行われます、みなさん振るって参加しましょう！

2015年11月7日(出)～8日(日)、静岡県にて東海北陸リーダー養成研修会が開催されました。東海北陸地域の7県士会から32名の参加がありました。昨今、作業療法士が社会から求められるニーズが多様化しており、作業療法士の質の向上はもちろん社会からのニーズに応えられるかが課題となっています。そのためには、職能団体である県士会のあり方が問われてきているかと思っています。そのような中で参加させて頂いたリーダー研修は、大変、意義深いものだったと感じています。

1日目は、中村春基会長による「OT協会の現状と今後の課題、県士会に望むこと」をテーマにした講演と、各県士会から「現状や課題、取り組み」の報告がありました。そこでは、組織作りを始め様々な形で啓発活動、地域への貢献、自己研鑽を図っている一方で、県士会の運営が一部の会員に偏り会員同士の連携が難しくなっていること、また、様々な理由で県士会離れが進んでいること等の課題についても共有しました。このような課題に応える形で、グループディスカッションが2日間かけて行われました。テーマは「人材育成（後輩指導、自己研鑽）」、「組織づくり（円滑な職場運営、県士会への帰属意識）」、「子育て世代への支援（環境づくり、復職支援）」の3つが用意されており、1グループ1テーマをディスカッションする形で進められました。全テーマ共通にして挙げられたのは、情報共有やコミュニケーションの大切さ、相互理解や環境づくりの必要性、そしてスキルアップを図りたいと会員一人ひとりが考えているかが重要であり、具体策についても様々な意見交換がなされました。中村春基会長は講演の中で、「協会と県士会が共に発展するためには、一人ひとりの臨床力が問われている」とお話しされましたが、臨床力を高めたいと

思う気持ちが、作業療法士の質の向上を図り、社会からのニーズに応えられる作業療法士に成長し、そしてそれを支える県士会の組織作りにつながっていくのではないかと思います。

そのためには、人、組織を育てるリーダーシップをとれる人材が必要になってきます。2日目の最後に、「組織における質マネジメント～リーダーシップとイノベーション～」というテーマで講演がありました。リーダーシップとは、共感性を持ちながらも指導性があることであるとお話しされ、リーダーシップを発揮するには、目的や目標を明示でき、周囲を巻き込みながら様々な環境を整え、実現に向けて行動できることが必要であることを学びました。リーダーシップには、柔軟性や気遣い、また人に与える影響力、一歩踏み出す勇気が必要だと感じました。リーダーの役目には部下のモチベーションを維持することが重要であるというお話もありましたが、若い作業療法士のモチベーションを引き出せる関わりが大切であることを痛感しました。

県士会の魅力とは何かを考えながら、「参加してみたいな」と思えるような県士会作りをこれからも目指して行きたいと思っています。





# 生活行為向上マネジメント研修会を終えて

八尾総合病院 河田 聡子

10月18日、11月8日と続けて生活行為向上マネジメント研修会（概論、アセスメント、プラン編）に参加させて頂きました。時期を空けず参加したため、生活行為向上マネジメント一連の流れを理解しやすく良かったです。

概論編では、生活行為向上マネジメントの成り立ちや流れ、また作業療法の思考を社会に伝えるための大切なツールであることを学べて良かったです。

アセスメント、プラン編ではグループワークを行い、症例を通して各セラピストの様々な考えを沢山聞くことができました。患者様の心身機能や活動参加に注目するだけでなく、見逃しやすい環境因子や個人因子をしっかりと汲み取った評価や治療内容の意見を聞いてとても参考になりました。

生活行為向上マネジメントシートについては、セラピストにとって通常自分が頭で考えている臨床思考過程を整理し、その内容を抜け目なく記載し把握することができとても良いと思いました。また、対象者や家族、他職種にとっても対象者が

望む目標に向かってどのようにセラピストが目標設定し治療を行うのかをしっかりと提示することができ良いと思いました。

しかし、生活行為向上マネジメントを行う際に少し不安を感じる点もありました。それは、生活行為向上マネジメントシートは書類に詳細な情報を記入するため、業務負担にならないかということです。また、対象者が生活行為の目標を上手く伝えられない場合、セラピストが様々な観点から評価を行い目標設定する必要があり、セラピストの技量が必要になると思いました。

そのため、まずは臨床でシートを利用し慣れていくことが必要だと思いました。他にも、事例報告を行い意見交換し知識を増やしていくことも大切だと感じました。

今後、生活向上マネジメントを活用するには時間を要すると思いますが、作業療法を家族や多職種に周知でき協力して頂け、対象者の生活行為が更に向上するのであればどんどん実践していきたいと思いました。

## 懇親会に参加して

矢野神経内科医院 井上 藍子

平成27年10月31日に福利厚生部事業の一環として、県士会の懇親会を開催しました。県士会の懇親会は会員同士の親交を図ることを主な目的として行われています。今年度は、富山駅前での開催となり、新人の先生からベテランの先生まで20名程参加してくださいました。

懇親会の様子はと言いますと、席は自由、コース料理で飲み放題。田村先生による初めの挨拶と乾杯。締め挨拶は作田先生にいただき、終始和やかムードの懇親会となりました。

懇親会の良さは、職場ではなかなか解決できない疑問や不安を、時間を気にせず、掘り下げて聞くことが出来ること。そして、お酒を交えることで、リラックスし研修会や部会では見ることのできない先生方の一面を発見しつつ、交流を深めることができることではないかと思います。

とは言っても、懇親会は「どんな方々が来られ

るかわからない。」、「先輩方ばかりで緊張する。」、「何を話せばいいかわからない。」など、腰が重くなってしまうことはあると思います。しかし、一度参加してみると、やはり緊張はしますが、普段交流することのない方々と交流することで、新しい発見ができたり、職場で働いているだけでは聞くことのできない話を聞くこともでき、参加してよかったなと思います。

参加してみたいけど、諸事情で参加できない…、こんなだったら参加しやすい、こんなことをしてほしいなど、要望がありましたら、ぜひ聞かせて頂けたら嬉しいです。

最後になりましたが、今回懇親会の開催にあたり多くの時間と労力を割いて頂いた福利厚生部の方、遠いにも関わらず、参加して下さった県士会会員の方々、本当にありがとうございました。来年もたくさんの御参加をお待ちしております。

# 「ほたるいかマラソンのボランティア活動に参加して」

八尾総合病院 西田 有里

平成27年10月11日に滑川市が主催する「第19回滑川ほたるいかマラソン」が開催されました。今年も富山県作業療法士会では、「作業療法を広めよう」「地域の人に知ってもらおう」という啓蒙活動としてボランティアに参加してきました。今年も、県士会からランナー1人、ボランティアスタッフ12人が参加しました。

当日の天候は曇り、過ごしやすい気温でマラソンには絶好の気候でした。

総勢3,553人の参加者が滑川の街を走り抜けました。今年も平成27年11月1日に開催された富山マラソンの練習として参加される方も多かったようで、過去最高の参加人数だったようです。

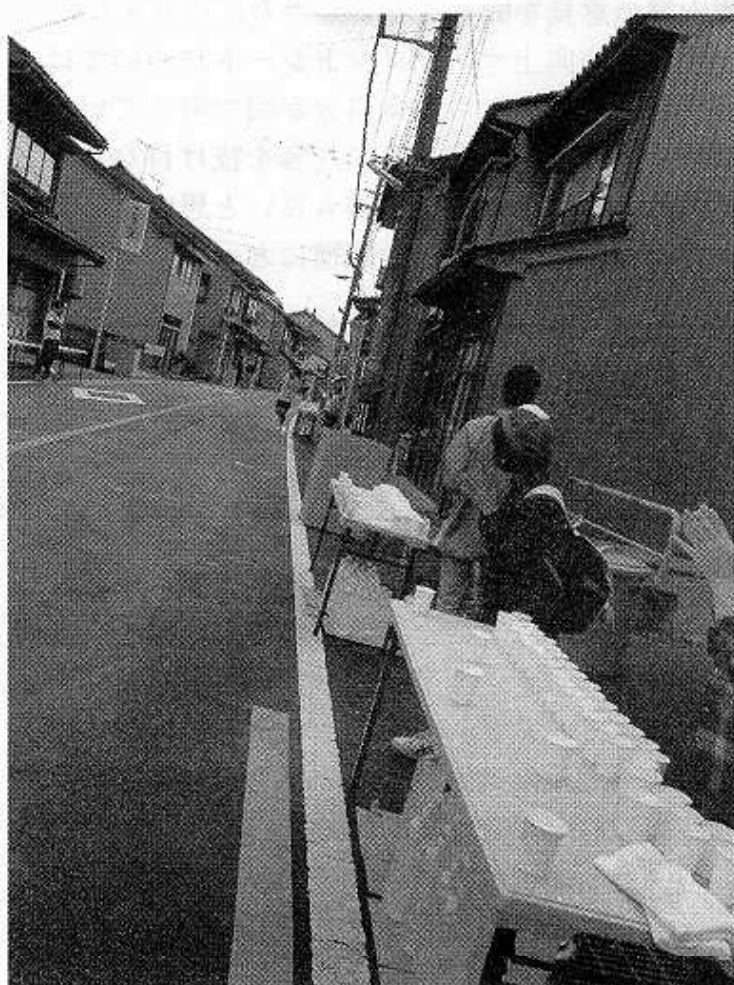
給水ボランティアとしての活動内容は、スポンジに水を含ませたり、水やスポーツドリンクを用意したりしてランナーに提供することでした。一度に大勢のランナーが給水所に押し寄せると、すぐに準備していたドリンクがなくなり、ボランティアスタッフで役割を分担して、迅速に対応する必要がありました。

体育協会の方の指導を受けながら、ランナーにドリンクを手渡しで提供する方法をチャレンジしてみました。手渡すタイミングが非常に難しく、給水失敗してしまうこともあり、責任を感じることもありましたが、ランナーの方から「ありがとう」と感謝の言葉をいただく度に、共に走っているような気持ちになり更に応援に熱が入りました。

給水所付近に富山県作業療法士会の幟を立て、

県士会スタッフはワッペンをつけてランナーを応援をしました。途中、風が強く幟が倒れるといったアクシデントもありましたが、ボランティアスタッフの団結力もあり、大きなトラブルもなく、無事に給水ボランティアを終えることができました。

来年度は、富山マラソンなど更に大きな大会でのボランティアへの参加も推進していき、「作業療法」を県民の皆様を知っていただく機会を作っていけたらと思います。



当院は、精神科急性期治療病棟、精神療養病棟、精神病棟を有する病床数310床の単科の精神科病院です。作業療法は、主に急性期の患者を対象として早期退院・社会復帰を目的とする部屋と、長期入院による高齢化のため身体機能が低下した患者を対象とし、身体機能の維持や日常生活活動の充実を目的とする部屋の2ヶ所で実施しており、統合失調症や気分障害、アルコール依存症、認知症など、あらゆる精神疾患や病状の患者に対応できるようにしています。今回は主に高齢者を対象とした作業療法室について紹介します。

室内は、座席や棚などの配置を工夫し、通路を広く設けることで、車椅子でも安全に行動できるようにしています。道具や材料などは患者が自由に使用できるよう、分かりやすい配置や展示をしています。活動内容に合わせて、作業空間、ボール遊び空間、遊び空間という3つの空間を設けています。

活動内容は、主に作品制作活動とボールや玩具を使用した遊びを用いています。作業種目は、主に技術が簡単で繰り返しの多い種目を用意し、身体機能や理解力の低下に対応できるようにしています。ボールは、様々な大きさや重さ、形状といった変化に富んだものを多数揃え、ボールに反応

して自然と運動することを促しています。玩具は、使用経験があり、仕組みが単純、操作方法がわかりやすいなどの特徴を持つものを揃え、興味を引いてすぐに取り組みできるようにしています。

当院の特徴は、取り組む活動内容や、休憩や中断などは患者の自由としていることです。自発的な行動の観察から、現在行えている身体機能や作業遂行能力などを評価し、残存能力の維持や、できない部分への適切な介助や環境設定を行っています。

このような取り組みを通し、長期高齢となった患者の機能維持を図るとともに、施設移行などの退院へと結びつける役割を担っていきたいと思っています。



## 会員異動等

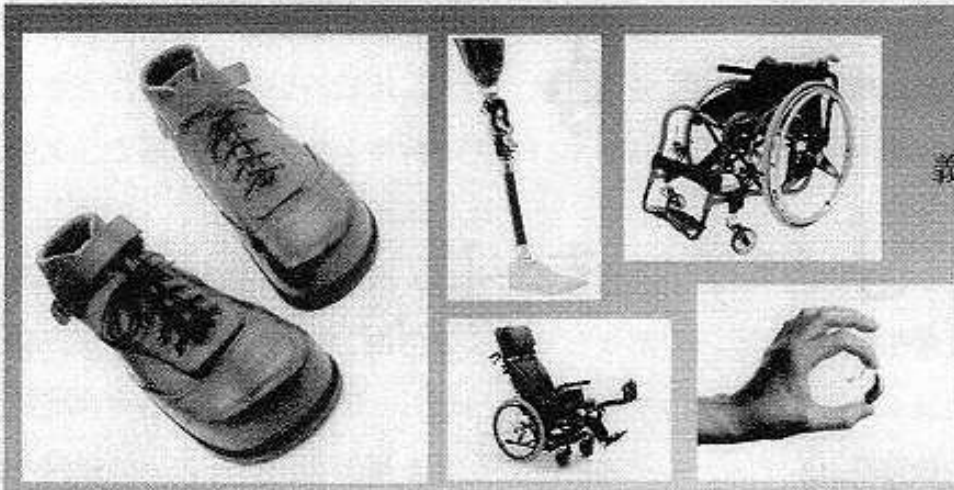
種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	岡上 真梨	おおやま病院	自宅	
異動	村上 聡子	シルバーケア城南	富山城南温泉第二病院	
改姓	内田 志津香		山田温泉病院	旧姓 斉藤
改姓	岡崎 香織		富山労災病院	旧姓 三國



# Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



## 【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理

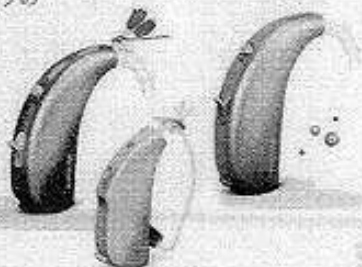
オーダーメイド靴 製作

車椅子・スローマ・補聴器

福祉用具貸与販売

高度・重度難聴の方をサポートする、クレストシリーズのパワー&防水タイプの補聴器です。

Phonak Quest



## (株)富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425 - 4279

FAX (076) 425 - 4587

E-mail [t-gishi@cronos.ocn.ne.jp](mailto:t-gishi@cronos.ocn.ne.jp)

## 介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子  
→ 480円より  
ベッド  
→ 700円より



株式会社 **ウイル**

TEL (0766) **56-7099**

FAX 56-3395



## 手芸・毛糸の店

- |         |           |
|---------|-----------|
| ○手芸糸    | ハマナカ      |
| ○刺し子    | オリムパス、ナスカ |
| ○ビーズ手芸  | トーホー、ミユキ  |
| ○マクラメ糸  | ダルマ、川端    |
| ○ちりめん手芸 | 東芸        |
| ○その他    | S.M、M.B他  |
- 各手芸材料取り扱っています。



ボタン・手芸・毛糸

# スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

## 平成27年度 第7回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成27年11月16日(月) 19:00～

参加者：田村・作田・広野・橋爪・島津・浅生  
吉波・松本・小倉・丸本・斉藤・森  
松岡・田邊

### 〈報告事項〉

1. 全国研修会富山県、富山市補助金－10月29日事業実績報告書提出。11月6日付けで富山市より交付確定通知書(25万円)。富山県からも18万円補助金がもらえる。OT協会からの士会運営資金50万円は12月末までに入金される
2. 福利厚生部－10月11日ほたるいかマラソンボランティア参加。10月31日懇親会は参加者17名。
3. 11月7、8日東海北陸リーダー研修会  
森氏(理事)、市森氏(基礎医学会)藤井氏(財務部)渡邊氏(発達障害部会)、宮本氏(普及指導部)の5名、伊豆長岡－おおとり荘での研修会に参加し、他県士会の取り組み・課題等について意見交換を行う
4. 11月10、11日健康と長寿の祭典－大会長表彰(早川氏推薦)、富山県厚生部門功労表彰(田村氏推薦)受賞無し
5. 11月13、14日富山県福祉カレッジ 専門多職種連携とソーシャルワーカー 実践研修会－衣笠氏(松岡病院)、渡邊氏(富山医療福祉専門学校)、川原氏(高志リハ病院)参加
6. 11月15日 認知症初期集中支援実践研修会  
富山医療福祉専門学校で開催。90名の参加者。
7. 11月21日 作業療法士協会理事会傍聴(女性会員の協会活動参画について)－吉波氏出席
8. 11月27日 地域リハビリテーション従事者専門研修会講師－鷲尾氏(南砺市訪問看護ステーション)に依頼
9. 11月28日 東海北陸作業療法学会開会式－高岡氏出席、支部会議－広野氏出席
10. 12月14日 富山県医療推進会議－田村会長出席
11. 生活行為向上マネジメント助成金OT協会より5万円
12. 高志リハ病院、子ども支援センター竣工式 12月23日－会長出席
13. 富山医療福祉専門学校作業療法学科3年制に移行
14. その他 11月28日(出) 第23回富山県介護予防研修会にて、「地域に根差した作業療法をめざして」～活動・参加に向けた作業療法士の取り組み～の話題提供を松岡氏・高林氏より。
15. 28年2月11日 訪問リハビリテーション研修会開催の予定。

### 〈検討事項〉

1. 今後の生活行為向上マネジメント研修会  
28年1月17日(日) 富山市総合体育センターにて13時半～16時 プラン編の研修会を追加開催。  
(アセスメント編を受講した方が対象)  
28年度以降、MTDLPの研修会開催と事例検討会の開催方法について検討中。  
各部会を含め、事例検討会が開催できるようにファシリテーター役の人材の育成が課題。
2. 認知症初期集中支援チームについて今後の取り組み。28年度開催については、検討中。決まり次第ホームページに掲載。
3. 会員管理システムについて－27年度内で完成予定。
4. 派遣依頼に関する調査アンケート結果と今後の取り組み－調査部で結果を保管。
5. 来年度県学会について－富山市南地区が担当。
6. 地域リーダー研修会は、28年度は富山県が開催担当

## 平成27年度 第8回理事会

場 所：富山病院

日 時：平成27年12月7日(月) 19:00～

参加者：田村・広野・作田・浅生・谷口・橋爪  
吉波・島津・小倉・森・高林

### 〈報告事項〉

1. 1月16日 47都道府県委員会－田村会長出席予定
2. 12月18日 認知症初期集中支援チームについて、県高齢福祉課との話し合い予定－田村会長、斉藤理事
3. 11月28日 東海北陸支部会議  
①東海北陸リーダー研修会について、各士会とも参加者に苦慮している。当面、一巡する迄は、この研修会を継続。次年度、富山県士会の予定。  
②第15回東海北陸作業療法学会について(11月28日、29日岐阜市にて開催。参加457名)  
富山県士会発表者は4演題。参加者9名。演題数が少なく、今後県外の学会に発表するよう意識づけをしていく方法を検討していく必要がある。  
第16回東海北陸作業療法学会は、担当石川県。場所は石川県地場産業振興センター。  
③都道府県連絡協議会の今後について、47委員会と調整。まだはっきりしないが、解散になる可能性も出ている。  
④どの県も三協会の主導権をPT県士会がとっているが疑問の声も出ている。

## 賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
㈱ウイル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL 0766-56-7099
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL 076-476-0001
㈱スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL 076-421-3444
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (理事長 加藤 真一)	924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400(代)

- 生活行為向上マネジメント研修会
- 来年度は5月と10月に一日研修会を予定。
- 7月・12月に事例検討会を予定。
- 事例検討会に際しては、各部会にMTDLP担当者を置き、担当者が発表者と参加者の取りまとめをする。部会に所属していない会員は、MTDLP委員会の担当者窓口へ直接申し込む。
- 1グループ発表者4名、参加者2名の計6名で構成。4グループに1名のファシリテーターがつく。1回の事例検討会に8グループ32名の発表者を予定。年2回開催するので計64名のファシリテーターを養成する予定となる。
- 11月28日 介護予防研究会-11名の参加。士会の活動(高林氏)とMTDLPについて(松岡氏)報告。MTDLPについて、より他職種に理解してもらう努力が必要。
- 11月21日 在宅医療研修会-作業療法士20名~30名の参加。
- 「地域ケア会議個別会議(模擬研修会)に関するモデル研修」11月29日、臨床福祉専門学校(東京都)で開催。参加者:橋爪氏・赤尾氏。模擬会議(グループワーク)を実施。研修内容はDVD編集の上、各士会に配布予定。スキルアップのための研修会をPOS合同で実施していく。
- \*OTが派遣してもらえらるシステム作りが、どの県も悩みとなっている。

### 〈検討事項〉

- 28年度事業計画案の検討
- 会員と非会員の研修会参加費を倍の差をつける。
- 参加費は、会場費・謝礼・交通費を考慮し、尚かつ研修時間も考慮して決めていく。
- MTDLP・地域ケア会議・認知症初期集中支援の推進に関しては、金額も大きいので会計報告に欄を作り載せる。
- 12月16日全体会の進行
- 研修会については、予定表を配り、大体の予定をいれてもらう。具体的日程が決まったら、学術局長に報告する。6月総会までには、全ての講師・日程を決めてもらう。
- 研修会会費、MTDLP・地域包括ケア・認知症初期集中支援チームについて説明。
- 3月~4月(平日夜)に地区別に会議を開催し、地域包括ケア関連・MTDLP・認知症初期集中支援チーム・災害リハ・士会費について理解を求めていく。
- OT協会50周年事業について企画していく。
- 東海北陸リーダー研修会を11月5日、6日開催予定。



### 編集後記

ようやくスツと言えるようになりました。

[MTDLP]

研修も全て受講し残すのは事例報告のみとなりました。この勢いでやってしまいたい、そう思いながら日々を過ごす今日この頃です。

(S.T)